

大河



江戸川区立小松川中学校
第2学年 学年通信
第9号
令和5年10月28日

合唱祭作文の続きです

「合唱祭で感じたこと」 2年C組 くん

「つまらない」と最初は口に出してしまいました。なんで歌わなければいけないのか、どうして合唱祭というものがあるのか、と疑問をもっていました。けれども練習していくうちに、成功させるぞという気持ちが芽生えていきました。その思いをもちながら、日々練習してきました。



そして当日がやってきました。江戸川区総合文化センターに来た時はすごく緊張していました。すごく広く良いホールでした。この場で歌えるこ

とを感謝して歌いました。スポットライトを浴びて歌えて最高でした。練習を含め、今まででいちばん良い歌だったと思いました。他のクラスもすごく良く、特に休んでいる人が多い中で歌った3年生がいちばん良かったと思います。この経験を活かして来年の最後の合唱祭を楽しみたいと思います。

「合唱祭」 2年C組 さん

今年の合唱祭では、人数が増え、体育館に入らないため、江戸川区総合文化センターでの合唱祭となりました。ホールだと大きい声を出さないと響かなかったり、配置によって3つのパートが聞こえなかったりと、去年とは違った難しさが

ありました。

9月下旬にテストがあり、2週間という少ない期間での練習でした。最初は音取りができず、声も小さかったため、合唱という形にはなっていませんでした。ですが、合唱祭が近づくにつれ、みんなの意識も変わり、どんどん良い合唱に成長していききました。

当日は、前の日が土日だったため少し不安でした。それに、実行委員だったので合唱祭の準備で朝の声出しにも参加できませんでした。ですが、本番では、3つのパートすべての声が聞こえてきて、とても良い合唱と思えました。

今回の合唱祭で、クラスのみんなで合唱をつくりあげることで、協調性や積極性もあがり、とても楽しい合唱祭になったと思いました。

「少しつかめた希望」 2年B組 さん

「静かにしてー！」

教室に響く伴奏者の声。しかし、その声もまたたく間にかき消されてしまった。

（本当に2年生がこんで、合唱祭が成り立つのか？）

私は教室中にあふれる騒がしい声を聞き、不安に包まれた。

合唱祭1週間前の放課後練習。皆、練習にはけだるさがにじみ出ており、私ま



でも士気が下がってしまいそうだった。歌い始めても笑い声が聞こえたり、話し声がしたりした。そのことからいらい、私は集中が途切れてしまった。歌詞の間違い。初歩的なミスにこっ恥ずかしくなり、声を小

さくしてしまった。アルトは人数が少なく、すぐに互いのミスがわかる。それゆえに、さらに恥ずかしくなった。

“B組”だからか、他の学年やクラスと歌い合うことも多かった。他の合唱を聞くと、入りから違うなあと思うことがあった。特に3年生。女子も男子も真っ直

ぐ歌っている。わきめもふらない。感動した。さすが3年生だと思った。クラスの皆にも効いたのか、そのあと歌った時は、自分でもわかるような、素晴らしいものとなった。大げさかもしれないが、心がみんなと通った気がした。

本番では、明らかに緊張していたが、練習の成果を出せた。ほんの少しだけ、3年生に近づけたかな。その後の3年生の合唱を聞き、まだまだ遠いな。そう、思った。

「合唱祭が終わって」 2年B組 くん

僕は、1年生のときの合唱祭では、練習時に実行委員が全部やってくれると思っていました。ですが、今回実行委員になって気づいたことがあります。

それは、実行委員だけでは何もできないということです。

例えば、体育館に移動するときに、すぐに行動してくれなかったり、合唱隊形にすぐになってくれなかったり、そんなことがよくありました。僕は、1年生の時に感じる事がなかったことを感じました。

1年生の時は、合唱にそんなに熱い気持ちとか、頑張ろうという気持ちはなかったけれど、2年生で初めて実行委員になって、1年生の時のようにはならないように頑張ったので、みんな大きな声で歌って、音程も合っている、素晴らしい合唱になったと思います。

また、来年実行委員をするかわからないけど、実行委員の手伝いやてきぱき行動するなど、今回、実行委員をやっているみんなにこうしてほしくないなと感じたことを、来年に活かしていきたいと思います。

「文化祭」 2年D組 さん



私は今回の文化祭を1年生の時より何倍も頑張ることができたと思います。私のクラスは明るく元気のあるクラスです。そんな中でいちばん良いところは、協力的で一致団結しているところです。例えば、給食当番では、学年でいちばん早く食べ始めることができま

す。理由は、給食当番ではない人が協力して声かけや手伝いをしてくれる、クラスのほぼ全員の人たちが配膳を手伝ってくれるからです。

このように、合唱の時もみんなで協力することで、大きな声で歌うことができたのです。

でも、最初のころは全然声が出ませんでした。多分みんな同じで、びびって声が小さくなっていたのだと思います。しかし、男声、ソプラノ、アルトの全部のパートで合わせて歌うことによって、大きな声で歌うことができました。この時からみんな気持ちを一つにして歌うことができたのだと思います。

初めはボロボロで小さい声の歌だったけど、上野先生や草薙先生の支えがあり、みんなの気持ちをそろえることができました。本当にありがとうございました。私にとって最高の思い出になったし、3年生になったら、これよりもっとすごい合唱を歌いたいと思いました。

「合唱祭」 2年D組 さん

私は今回の合唱祭で、改めて協力するっていいなと思いました。初めての合唱祭を成功させようと、先生やみんなで協力して、合唱をつくりあげました。最初は全然息が合わないし、声も出ていなくて、盛り上がる部分も全然盛り上がりず、合唱っぽくなかったけれど、日々練習を重ねていくうちに、声も出るようになり、音程も息も合ってきました。

毎日練習していると疲れてしまうからと、少し休みの時間をくれたり、集中できない時はパート練習をしたりして、本番、自分たちがベストを尽くせるようにしてくれ、すごくクラスの雰囲気も良くなりました。

本番前の最後の練習では、今日自分たちが出せる最大限の声で頑張りました。その結果、私は喉を傷め声が枯れてしまい、土日で治してこようと思ったのですが、悪くなってしまい、本番では声が本当にカスカスになってしまっていたけれど、私は今出せる最大限の声で歌いました。喉が枯れていなければ、もっと声の出るいい合唱だったのではないかと今でも思います。ですが、「自分が出せない分、周りがサポートしてくれるよ。」と上野先生に言われ、協力するっていいことだなと改めて実感したのです。なので、これからは、行事は絶対にみんなで協力し合っていいクラスをつくっていきたいと思いました。